



物価高騰、職場での解雇や人権侵害、外国人差別、戦争の危機。働くものの環境がますます悪化するなか、5月1日、第94回メーデーが開催された。この日はメーデーにふさわしい5月の晴天に恵まれた。日比谷メーデーの会場である日比谷野音周辺の木々は鮮やかな緑色に染まっていた。そこに赤や青の組合旗が林立していた。コロナが開けたひさしぶりの大規模集会に参加者の表情も高揚していた。

2023「メーデー前夜祭」

主催：国鉄闘争の経験と教訓を活かす千葉県共闘会議（高教組・千水労・ユニオン市原・千葉スクラムユニオン・東葛ふれあいユニオン・N関労・郵政産業労働者ユニオン・ユニオン木更津）

4月28日（金）開始時間・18:30 千葉市民会館3階 特別会議室2

講演：「一日本の労働運動の再生— いまこそ、労働組合の存在価値を考える」

講師：二瓶久勝さん（元国鉄闘争共闘会議議長）

開会あいさつは千葉県水道労組。主催者あいさつは千葉県共闘会議議長（坂本雄一郎・高教組委員長）。来賓：社民党、新社会党、共産党、立憲民主党（メッセージ）を行い。講演に入りました。

1. 世界の物価高騰・生活と権利を守る闘いの紹介。

1) フランス：マクロン大統領が出した、年金改悪法案（支給開始を62歳から64歳にする、保険料の値上げ）。大統領が議会の立法

手続きを飛ばして年金改革を強行することに反発して野党が提出した内閣不信任案が、

すべて下院の敷居を越えられなかったことに対し、連日のように全土で数百万のデモが行われ、清掃労働組合がストライキを行い、花の都・パリがゴミの都だ。

労働者、市民のマクロン大統領に対する不満は残り、現在でもデモ等の抗議行動が展開されている。

2) ドイツ：物価高に不満で、10%以上の賃上げを要求し、鉄道・航空・運輸公共サービス労働者、さらに保健・介護・医療・救急救命。消防・郵便等の過去最多の40万人がストライキに入り闘争中だ。

3) アメリカ：ロサンゼルスでは、3月21日から3日間不当労働行為に抗議し、生活のできる賃金を要求してストライキで闘った。ロサンゼルス統一学区では小中高で42万人がおり、全米2位の大きさだ。バス運転手、食堂従業員、医師、警備員等を組織しているサービス従業員国際労働組合の3万人、教員、看護師等を組織しているロサンゼルス教員組合の3.5万人がストライキに入った。地域の父母も支持し、世論調査では約80%が支持した。このような闘いが各州で闘われている。

2 日本の平均賃金の推移と国際比較

30年間賃金は上がっていない。

■その大きな要因は日本の労働組合の組織率が16.9%と低迷し、不満の場合はストライキで闘うとの体制ができていない。その結果、低賃金で甘んじ、大企業の内部留保は516兆円となっている。

■過去のストライキ

1975年	5197件（スト権スト）
1990年	283件（連合結成は1989年）
2021年	32件

3 日本の社会的弱者の実態

1) 非課税世帯（住民税免除）の年収が約205万円以下の日本の世帯5142万世帯中で、1218万世帯（23.4%）。生活保

護世帯 164 万人(21.5%)となっている。

2) 非正規労働者(約 2064 万人 : 36.7%)・平均年収 : 197 万円 (男性 266 万円、女性 162 万円)

3) 生活保護・月収 : 13 万円 (単身)
受給者約 203 万人 (条件が厳しく捕捉率は 20%程度?)

4) 外国人労働者の実態

※総数・約 180 万人 (ベトナム 25%、中国 25%・・・)

※年収・約 300 万円、特に人権問題で批判を受けている技能実習生は 33 万人 : 年収 200 万円

5) 子供の貧困率

日本の子供(0歳~14歳);1493万人(11.9%)と47年間低下し、将来に向けて大きな社会問題になっていく。

貧困率は 13.5% (7人に1人)。(相対的貧困率とは日本の平均所得の 50%以下の家庭の所得 : 日本・122 万円以下)。1人親世帯の貧困率は先進国(34か国)中でワースト位の 48.1%。

6) 高齢者福祉の改悪

年金 : 今年度は 67 歳以下・2.2%、68 歳以上・1.9%の増額の予定。「マクロ経済スライド」によって物価高騰の中で益々苦しくなる。また 75 歳以上の健康保険料は課税所得が 145 万円以上であれば 1 割から 2 割、3 割に増える。

7) 食料無料配布。子ども無料食堂の活動から (NPO 法人)

※食料無料配布は全国 (178 団体) : 東京 (23 団体) (農林水産省)

※子ども食堂・全国 (7363 団体)、東京 (839 団体)

コロナ禍で増加したが、企業、個人からの寄付は減少している。各行政と連携しながら活動。

4 物価高騰の実態 (22年2月との比較)

1) 政府発表

消費者物価指数 : 3.9%。食料品 : 7.1% ~ 15.7%。光熱費・水道・ガス代 : 12.5%。都市ガス : 33.3% 家電・家具 : 11.2%。携帯電話 : 20.8%

各家庭で節約に努力しているが、もう限界。生活実感からは 10%以上の高騰が続いている。

2) 今後予定される値上げ

※電気料金 : 東京電力 30% (6月から

予定)。東北・北陸・中国・四国・沖縄も 28~45%の値上げを予定。独占禁止法違反で再提出で 17~45% (東京電力 : 29.3%~17.6%に)

※民間会社の調査した今後の値上げ予定

4月末までに 7000 品目以上の予定。鉄道 14 社は初乗り料金 10 円値上げ、宅急便、その他・・・。

5 春闘結果

1) 連合の第三次発表(定昇込み) : 3.7%
中小労組 (300 人未満) : 3.42%

2) 非正規労働者の賃上げ : 80%以上が 0 回答。

従って、3月15日は大手企業(定昇込み) : 3.8%上限。

この現状を打ち破るには「非正規労働者」を無くし、公務員のスト権を回復させ、小選挙区制を無くすことであり、このうちの1つでも達成できるなら日本社会の暮らしは変わると訴えました。この社会は資本主義社会であり、労働者階級対資本家階級の闘いの中にあります。闘えない連合ではいつになっても労働者はおこぼれをもらう哀れな賃金奴隷のまま働かされ、資本家が労働力を搾り取ったカスのように職場から追い出されるだけです。闘ってきた先輩労働者は悔しかったら闘うための組織を作れ、労働者は個人では何もできない。資本家と闘うための武器「学習」会を組織しよう。必ず労働者階級の社会が来る。民主的な科学的社会主義社会が、例えば、「イギリスにおける労働者階級の状態」(エンゲルス著)など。

講演後、質問・意見等。メーデーアピール採択 (N 関労)。閉会の挨拶 (千葉スクラムユニオン)。団結ガンバロウは国労千葉地本が行いました。

主な日程

5月12日(金)京葉ユニオン講演会
18:30~20:00

船橋勤労市民センター3F 第4会議室
23日(火)県内地区・ユニオン交流会
18:30~ 京成労働会館

6月 3日(土)県内キャラバン
9:45JR 柏駅(東口)集合
松戸・市川・船橋・津田沼・稲毛・千葉
(各駅 30分の宣伝行動)

次回執行委昌会 6月15日(木) 10:00